

中ノ瀬の冬キス好模様 良型ぞろいで引き味抜群

沖釣りの入門魚として人気のシロギスは、簡単なだけでなく奥深さもあり、ビギナーからベテランまで楽しめる。冬は例年なら水温が下がり、水深30メートル前後の深場へ移動する時期だが、目下のところ水温が12度台で安定している中ノ瀬の水深20メートル前後が主な釣り場になっている。釣れるサイズは18〜20センチの丸まる太った良型主体

で、冬場のシロギスは身にほんのりと脂が乗っていても美味。ぜひとも釣りたい。食べてみたい。

12月16日、そのシロギスを狙って東京湾奥羽田大師橋際のかめだやへ向かった。

6時半に船宿に到着し、受付して船着き場へ向かうと船長が出船準備をしていたのであいさつする。

7時半、私を含めて7名の



▲東京湾のシロギスは冬も期待大
▼良型シロギスの一荷釣りもしばしば



のシロギスをキャッチ。「ルアー釣りが好きで秋から何度かサワラ釣りに行ったんですが、まったく釣れませんでした。それで今回はアタリが多いシロギスで癒やされにきました。シロギスはおいしいですし、小気味いい引きが病みつきになります」と久しぶりに魚を上げてうれしそう。

一荷釣りでスタート

開始早々、右ミヨシ2番の方が18センチほどのシロギスを一荷で上げる。続いて右ミヨシの太田さんが20センチ級

交互にあやつり、釣りまくっているのは常連の真次さん。全長65センチ、2本バリのテンピン仕掛けを使い、投入したら竿を置いてもう1本の仕掛けを投入。続いて最初に投入した竿をサビいて竿を置き、後から投入した竿に持ち替えてサビく、これを繰り返して次つぎにシロギスを釣り上げ、一荷釣りも見せてくれた。「仕掛けを短くすることで絡まりにくくなるので、その分手返しもよくなりますね」と言う間も常に竿先から目を離さない。

その真次さんと背中合わせで釣っている宮内さんも2本竿。1本は置き竿、もう1本は手持ちで誘うスタイルで18〜20センチのシロギスを連発。「置き竿でもアタるし、手持ちで誘っているほうでも釣れていますよ。シロギス釣りが楽しめて、そのうえ良型も釣れば大満足です」と一緒に



▲2本竿で小ついで船下を狙う方もいた

知得! アンダーハンドキャストで狙おう

シロギス釣りは浅場、深場を問わず、軽くキャストするほうが釣りやすい。広く探れるし、潮上にキャストすることで落ちていく糸が真っすぐになりオマツリを防ぐ。投げ方は色々あるが、船の上では安全のため、アンダーハンドでキャストするのがルールだ。



▲アンダーハンドキャストで軽く投げる

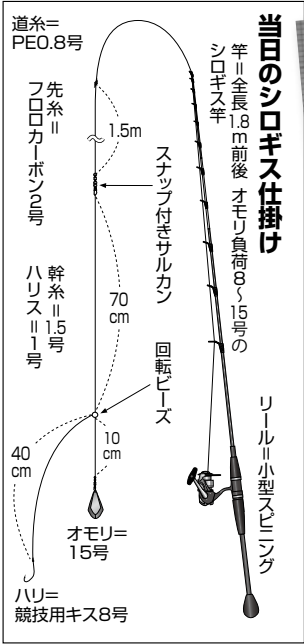
来ていた2人の釣り仲間と喜んでた。

10時過ぎにほとんどの人がツ抜けしたところでアタリが遠くなり、船長から竿上げの合図。潮回りをして水深20メートルで再開する。いいポイントに入ると船内のあちこちで18〜20センチのシロギスが釣れ上がる。

この日最大となる22センチを釣り上げた太田さんは、「このサイズになると引きが強くて楽しいです。胴つき2本バリ仕掛けをキャストしてズル引いて、ヨブに差しかか

Tackle Guide

胴つき仕掛けは幹糸から直接枝スが出ている構造で、仕掛け絡みなどのトラブルが少なく、アタリがダイレクトに伝わりやすい。潮が流れていれば仕掛けを止めていてもエサが底を引きずらずにシロギスの泳層を漂してくれる。



胴つき仕掛けで連発

午後から私も竿を出す。当日は、太田さん以外はテンピン仕掛けだったが、私は夏の浅場以外では胴つき1本バリ仕掛けを愛用している。ハリ数については1本のほうがエサ付けが楽だから。

「胴つき仕掛けは投げても絡まりにくいので、ビギナーにオススメです」と船長。アオイソメの頭を切ったハリに刺し、3センチほどにカットして投入。着底し糸フケを取りオモリを動かさずにアタリを待つ。潮が動いている

のでハリスが潮になじみわずかに動いているはずと、海底の様子をイメージしているとココンと小さなアタリ。巻き上げると定番ゲストのイトヒキハゼ。その後も4連釣してしまう。

仕掛けを止めればなしだとイトヒキハゼに食われるので、誘い上げと落とし込みを行う。1メートルくらいオモリを持ち上げてゆっくり竿を下げていく。着底したら3〜4秒ほど待ち、誘い上げて浮いたエサをゆっくり沈めてアピールさせる。

するとプルプルとアタリが伝わってきたのでビツクリ合わせをしたらストップ抜け。「冬はアタリがきても早合合わせるとストップ抜けることが多いので、ゆっくり聞き合わせて竿先が入り込んだら軽く合わせるというですよ」と船

長がアドバイスしてくれた。急いでエサを付けて再投入。同じように誘うとすぐにアタリ。船長に教わったとおり聞き合わせるとハリ掛かりして上がってきたのは18センチのシロギス。

釣れたときのイメージを忘れないようにエサを付けて再投入。同じように誘うとすぐにヒット! 先ほどよりも鋭い引きで楽しませてくれると思った。その後同サイズを3尾を追釣し、余裕が出てきたのでほかの釣り方も試したくなり、胴つき仕掛けのシャクリ釣りにトライ。

この釣りは10秒に1回くらいのペースで空シャクリを繰り返す釣り方。オモリが着底して次のシャクリに入るまでの間にユラユラと落下するエサをシロギスが吸い込んでい



▲当日最大22センチのシロギス

船宿information

東京湾奥羽田大師橋際
かめだや
☎03-3741-1258
(詳細は巻末の情報欄参照)



鈴木 祥太船長

▶料金=シロギス乗合一人9300円(エサ、水付き)
▶備考=予約乗合、7時半出船。別船はライトアジ、タチウオへも出船。JR蒲田駅まで送迎あり

東京湾のシロギスは冬も浅場で楽しめるので、小気味いい引きを味わいに家族や友人と出かけてみてはいかがか。